貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2023年8月28日

函館水產試験場調査研究部

•					麻痺′	性原因種		下痢性原因種			
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	A属の他種	Df	Da	D属の他種	備考	
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
八雲	8/24	0	25.9	31.38	0	0	0	0	0	_	
噴火湾北西部		5	22.9	32.26	0	0	0	0	40	Dt40	
9.0		10	21.3	32.47	0	0	10	0	100	Dt10,Dm40,Dru40, Dro10	
		15	21.2	32.94	0	0	0	0	30	Dt10,Dm20	
		20	20.0	32.95	0	0	0	0	0		
		25	18.4	32.96	0	0	0	0	0		
		30	12.4	32.90	0	0	0	10	10	Dro10	

At=*Alexandrium tamarense* species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ レックス (旧*A. tamarense*)

Ac=Alexandrium tamarense species complex アレキサント ሀታሴ ያマレンセ スピーシース コンプ レックス (旧A. catenella)

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾北西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾北西部で出現しています。

噴火湾北西部の8月下旬の水温は12.4~25.9℃です。

(担当: 夏池真史•水上卓哉)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2023年8月17日

函館水產試験場調査研究部

					中本	4.6.日籍		工态性质田 3		
地 点	80	远中	-ル:日	塩分		生原因種		下痢性原因	_聖 D属の他種	備考
	月日	深度	水温	遍 万		A属の他種	Df	Da		1佣 右
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	8/7	0	21.9	33.04	0	0	0	10	80	Dm70,Dro10
太平洋中部		10	16.6	33.76	0	0	0	0	10	Dm10
7.0		20	14.8	33.85	0	0	0	0	0	
		30	12.1	33.71	0	0	10	0	70	Dn60,Dc10
虻田	8/8	0	24.6	31.88	0	0	0	10	20	Dm10,Dro10
噴火湾東部		5	24.7	31.89	0	0	0	0	120	Dt20,Dm90,Dro10
14.5		10	24.6	31.91	0	0	0	0	20	Dt20
		15	24.6	31.91	0	0	0	0	10	Dm10
		20	17.3	32.47	0	0	30	0	20	Dt10,Dro10
		25	13.0	32.89	0	0	230	80	100	Dn90,Di10
鹿部	8/10	0	22.0	31.94	10	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		10	18.6	32.37	0	0	0	0	0	
8.0		20	12.2	32.67	10	0	210	150	110	Dn70,Dt10,Di30
		30	9.4	32.70	0	0	80	20	30	Dn20,Di10
		40	7.7	32.92	0	0	10	10	50	Dn40,Di10

At=*Alexandrium tamarense* species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧 *A. tamarense*)

Ac=Alexandrium tamarense species complex アレキサント ሀታሪ አድ ትጋት ነጋጎ አተጋት ነጋጎ አተጋት ነጋጎ (旧A. catenella)

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデプラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジュイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾湾口部で出現しています。

太平洋中部の8月上旬の水温は12.1~21.9℃, 噴火湾東部の8月上旬の水温は13.0~24.7℃, 噴火湾湾口部の8月上旬の水温は7.7~22.0℃です。

(担当: 夏池真史•水上卓哉)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2023年8月8日

函館水產試験場調査研究部

-					麻痺'	性原因種				
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	A属の他種	Df	Da	D属の他種	備考
透明度(m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
森	8/1	0	23.9	31.64	0	0	0	0	0	
噴火湾南西部		10	17.9	32.31	0	0	10	50	20	Dt20
12.0		20	8.6	32.77	0	0	110	10	10	Dt10
		30	6.6	32.83	0	0	20	0	10	Dt10
知内	8/1	0	19.1	33.88	0	0	0	0	40	Dm10,Dru20,Dro10
津軽海峡		10	18.9	33.88	0	0	0	0	30	Dm10,Dru10,Dro10
13.0		20	18.5	33.89	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧*A. tamarense*)

Ac=Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. catenella)

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサント リウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス /ルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ディノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス ロテュンダダ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾南西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾南西部、津軽海峡で出現しています。

噴火湾南西部の8月上旬の水温は6.6~23.9℃, 津軽海峡の8月上旬の水温は18.5~19.1℃です。

(担当: 夏池真史•水上卓哉)